

260人が参加し第58回総会を開催

映像プロデューサー福田礼子さん講演、母校室内楽班の演奏を楽しむ
37期から117期、80年超え交歓

関東同窓会は6月29日（土）、千代田区一ツ橋の如水会館で第58回総会を開いた。総会には母校や同窓会本部、関西同窓会、長野支部、中南信支部からの来賓も合わせて260人が出席した。参加メンバーの最長老は岡清助さん（37期）、最年少は内田実結さんと柳沢理乃さんの117期でその差はなんと80期。

▽福田礼子さん（72期）が講演

11時からの第1部の講演会では、独立プロダクションのプロデューサーとして、テレビ東京の経済報道番組「カンブリア宮殿」などで優れたドキュメンタリー作品を制作している福田（旧姓古市）礼子さん（72期）が講師で登場。

「メディアの世界でフリーで仕事する面白さ」をテーマに、番組制作の舞台裏や取材を通じて出会った話やエピソードを約40分にわたって話した。

福田さんは大学時代に映像ジャーナリズムに係るようになり、現在は夫が経営する独立系制作会社（株）アライブ（本社・松本市）に所属し、テレビ番組を中心にCM企画制作などで幅広く活躍中。

講演では、過去に「カンブリア宮殿」で紹介し大きな反響を呼んだ、水族館の巨大水槽では世界で圧倒的なシェアを押さえる香川県の企業、日プラ（株）の敷山哲洋社長を特集した番組の制作過程などを紹介。映像番組をどう作っていくか、取材交渉や取材から作品として時間枠内に仕上げるまでの密度の濃い編集作業の苦勞、10面のモニターをみながら現場に指示を出し、最後に字幕やモザイクを入れ、1カットごとに不適切な内容や表現がないかをチェックするスタジオ作業などのテレビ番組制作の舞台裏、放映後に反響が大きかったときの充実感などを熱く語った。

▽幹事長に関博明さん（72期）選任、19年度の会務計画案などを承認

続いて開いた第2部総会では、関雄二さん（72期）の司会のもと、議長には矢島基美さん（72期）を選出し議事に入った。冒頭、上原昇会長（65期）から関東同窓会創立60周年記念DVDが完成し総会出席者に配布したことを紹介。「今回、総会会費を千円値上げしたにもかかわらず、260人が参加する盛大な集まりとなった。72期をはじめとする実行委員の熱心な取り組みに感謝したい」とあいさつ。2018年度報告と2019年度計画が承認された後、今回、田口博幹事長（66期）が一身上の都合で退任、後任の幹事長に関博明副幹事長（72期）の選任を満場一致で承認した。

▽母校室内楽班の演奏を楽しむ

第3部は隣のスターホールに会場を移し、丸山剛生さん（77期）の司会により演奏会・懇親会がスタートとなる。まずは母校室内楽班25人による弦楽演奏を楽しんだ。指揮は顧問の柳澤哲先生、班員代表の鎌原智希君が班活動や演奏曲の解説などを交えながら、7月6、7日の松尾祭「Classic Concert」に向けて練習に励んでいることを紹介。モーツァルトの「ディヴェルティメントK136」、J. シュトラウスの「皇帝円舞曲」、日本の歌から「朧月夜」、「夏の思い出」、ロッシーニの「弦楽のためのソナタ第1番」など6曲の心地よいハーモニーを響かせた。鳴り響く拍手に応じてアンコールにはお馴染み、NHK大河ドラマ「真田丸」のテーマを披露し盛り上げた。45分間の演奏後は恒例になった室内楽班へのカンパが行われ、後輩を励ます多くの気持ちが募金箱に注がれた。

▽懇親会は長坂武見総会実行委員長（72期）のあいさつで開宴

来賓を代表し廣田昌彦学校長が、仕上げの5年目を迎えたSGH（Super Global High School）の実績を総括して新たな方向性を示していく考えを紹介した。

続いて金子元昭同窓会理事長（68期）による母校創立120周年への協力要請のスピーチと乾杯発声で歓談に入った。参加者は期ごとにテーブルに集まり、料理や飲み物を楽しみながら和やかに歓談した。宴もたけなわの15時、来年度の総会実行委員を代表して宮下克彦さん（73期）が「来年（6月27日）も多くの同窓生を集め盛大に開催したい」とあいさつし、最後は丸山剛生実行副委員長（77期）の閉宴の辞で、4時間にわたる総会・懇親会を無事に終了した。

（2019年7月7日、本村龍生編集長（69期）記）

【写真1：総会であいさつする上原会長】



【写真 2 : 講演する福田礼子さん】



【写真 3 : 室内楽班の演奏会】



【写真 4 : 長坂武見実行委員長の開宴あいさつ】



【写真 5 : 廣田校長あいさつ】



【写真 6 : 金子理事長あいさつ】

